



2022年4月15日

各 位

会社名 日本航空株式会社  
代表者 代表取締役社長執行役員 赤坂 祐二  
(コード: 9201 東証プライム市場)  
問合せ先 財務部長 木藤 祐一郎  
(TEL 03-5460-3121 (代表))

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2021年11月2日に公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

##### 通期連結業績予想

	売上収益	財務・法人所得税前利益 (EBIT)	親会社の所有者に帰属する 当期利益
前回発表通期予想(A)	百万円 766,000	百万円 △198,000	百万円 △146,000
今回発表通期予想(B)	682,000	△239,000	△177,000
増減額(B-A)	△84,000	△41,000	△31,000
増減率(%)	△11.0%	—	—
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	481,225	△398,306	△286,693

#### 2. 修正の理由

上表の通り、2022年3月期の通期連結業績予想について、通期連結売上収益、EBIT、親会社の所有者に帰属する当期利益の見通しを修正いたします。

第4四半期に入り新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大を踏まえて多くの都道府県において「まん延防止等重点措置」が適用され、国内旅客需要が大幅に落ち込み、国内旅客収入は想定を大きく下回りました。一方国際旅客需要も、日本入国時の規制緩和がなされたものの全面的な需要回復には至らず、国際貨物収入の増収に努めたものの、売上収益は想定を下回る見込みとなりました。

営業費用については、固定費を中心にコスト削減に努めたものの収入減をカバーするには至りませんでした。なお、3月には地政学リスク等の影響で燃油価格が高騰しましたが、燃油ヘッジ取引等により今期業績への影響は限定的となります。

以上の結果、通期連結売上収益は6,820億円、EBITは△2,390億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は△1,770億円と通期連結業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績等は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。なお、当社の2022年3月期通期決算発表は、2022年5月6日(金)15:00を予定しております。

以上